

実施した対策、投資額と削減効果

社	対 策	投資額	削減効果（年）
A 社	照明器具更新・LED 化（輸送トラックゲート） 輪転機室用空調機更新 執務室空調機更新 照明器具更新・LED 化（1 階、3 階事務所系） いずれも工場での対策	約 500 万円 約 2600 万円 約 100 万円 約 100 万円	46,535kWh 20,127kWh 16,121kWh 4,217kWh
B 社	誘導灯・階段通路誘導灯の LED 化 トイレ照明の LED・センサー化	約 1690 万円	88,606kwh
C 社	本社ビル照明の LED 化（約 7000 本）	4160 万円	176,000kWh
D 社	シャフトレス輪転機 5 台導入 40W 2 灯用蛍光灯 395 灯を LED 化	600 万円	29,000kWh 70,000kWh
E 社	本社、支社、印刷工場の照明を LED に更新 （40W × 2 灯型 328 台）	1340 万円	6.4kl（18t-CO2）
F 社	輪転機室、給紙部、屋根付き駐車場の LED 化（印刷工場）	約 600 万円	約 15 万 kWh
G 社	LED 導入	436 万円（税抜き）	35,273kWh
H 社	設置から 25 年経過した定速ターボ冷凍機 400RT をインバータ駆動方式の 700RT へ容量アップして更新。同時に冷水、冷却水ポンプ、冷却ファンも全てインバータ駆 動方式へ更新して省エネ化を図る。 老朽化したコンプレッサーをベース機はインバータ方式、その他は定量方式の高効 率型に更新	2 億円強	試算では熱源設備全体 での既設比でエネルギー 消費量 41%、CO2 排出量 43%まで下がる見込み。 527kl 削減見込み
I 社	本社ビル全館に配置している上水・井水水栓計 386 個にエコバルブを装着	100 万円	使用吐出量を前年対比約 15%抑えることにより、 上水受水槽、井水受水槽 からビル高架槽に汲み上 げる揚水ポンプの運転時 間を軽減
J 社	照明を蛍光灯から LED へ交換	約 707 万円（税抜き）	88,606kwh
K 社	本社管理部門を中心とした大幅な照明の間引きと長時間電気を使用する編集局を中 心とした LED 化	約 650 万円	本社の電力使用量が前年 度比 420,653kWh 削減で

			きた要因の一つとみられる
L社	LED照明の導入（2013年11月）	約1000万円	2013年12月～2014年5月までで使用電力量が前年同期比約8%減

今後実施予定の対策

【本社・印刷工場におけるハード面の取り組み】

本社における取り組み

- ・照明のLED化
- ・空調機器使用時間の見直し
- ・受変電設備更新計画に伴う変圧器（旧JIS）をトップランナー変圧器（損失を軽減する）に更新予定

- ・氷蓄熱槽の増設

印刷工場における取り組み

- ・照明のLED化
- ・照明の水銀灯化
- ・次期システムの省電力化
- ・老朽化した空調機の更新
- ・熱交換器の保温ジャケット取り付け
- ・建屋設備更新時に高効率、省エネ対応設備を導入する（例：コンプレッサー、冷却塔、各種空調機、温水器など）
- ・各種省エネ機器の導入（例：冷却塔制御と冷却水循環ポンプの可変速、刷版現像廃液削減装置など）
- ・2014年12月から新聞輪転機2セットの更新工事に入る。2015年8月から新輪転機が稼働し、省エネ等の効果は大きいと期待される

【本社・印刷工場におけるソフト面の取り組み】

- ・新社屋における環境・エネルギー対策の推進
- ・管理部門を中心とした昼と夜の定時消灯（東京・大阪本社）
- ・空調機器使用時間の見直し

【その他の取り組み】

- ・太陽光発電を検討
- ・印刷センター敷地内に太陽光発電設備を設置する